

事務事業名		ねんりんピック栃木開催事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	ねんりんピック係		担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5178	一般	3	1	3	ねんりんピック栃木開催事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	平成24年度～平成26年度		根拠法令	条例等					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業				
	実施方法		直営		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業				
リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		3-4					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
本市が栃木県で行われる全国健康福祉祭(ねんりんピック)のゲートボール競技の会場となる。平成26年度は本大会が円滑な大会運営を図るために準備を行い、ねんりんピック栃木2014ゲートボール交流大会を開催する。		平成26年10月4日～5日に、ねんりんピック栃木2014ゲートボール交流大会を開催した。台風による荒天のため、6日(大会2日目)は中止とした。全国から159チーム、928人の選手監督が来場した。運営には大会実施本部を立ち上げ、関係団体や高校生・市民ボランティアの協力を得ることができた。 大会開催準備として、第2回実行委員会や第4回専門委員会をはじめ、会議打ち合わせを行った。平成27年2月9日に第3回実行委員会を開催し、議案として事業報告、決算、実行委員会解散について報告、協議がなされ、平成27年3月31日をもって佐野市実行委員会の解散が承認された。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
老人クラブ会員数		人	5,985	5,642			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)							
対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
おおむね60歳以上で自立した生活を営んでいる方 60歳以上の高齢者数		人	41,687	42,554			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)							
成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
地域で生きがいを持って元気に活動を行う高齢者を増やすことで、いつまでも介護が必要でない状態を維持する。 一次予防事業参加者数(包括分除く)		人	4902	5105			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)							
上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。 ふれあいサロン参加者数 老人福祉センター利用者数		人	61,082	62,341			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円											
	一般財源	千円		4,228	9,189								
	事業費計(A)	千円		4,228	9,189	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	共済費臨時職員	387	工事請負費	371							
			賃金	2,758	交付金	8,819							
			補助金	1,083									
人件費	正規職員従事人数	人	2	2									
	のべ業務時間	時間	800	1,600									
	人件費計(B)	千円	3,113	6,226	0	0	0	0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,341	15,415	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	ねんりんピック栃木開催事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	ねんりんピック係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成23年度に、佐野市が平成26年度に行われる全国健康福祉祭(ねんりんピック)のゲートボール競技の会場となることが決定したことがきっかけで、本大会開催準備を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ねんりんピックは、各県持ち回りで行っている高齢者のスポーツ・文化の交流事業で、平成26年度の栃木県での大会は、第27回大会となっている。全国を一回りするまでは、全国のどちらかの都道府県で毎年実施されると思われる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議員からは大会成功に向け、準備を充分に行い、全国から参加する方々へ、おもてなしの気持ちをもってお迎えし、同時に本市のPRを図ってほしいという意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	平成25年度のプレ大会開催の改善点や反省点を基に、また、先催県の事例を参考にして、本大会が成功するように十分な準備と、参加者へのおもてなしの気持ちで迎えることにより成果向上を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ねんりんピックは、多くの高齢者が集う高齢者の祭典であり、全国からの来場者もあり、高齢者同士の交流が図られることで、豊かな長寿社会の実現にもつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 ゲートボール交流大会会場が佐野市に決定し、栃木県実行委員会や栃木県ゲートボール協会と緊密な連携を図りながら事業を進めていかなければならないため、また、本市へお越しになる方へのおもてなしやPRの事業を合わせて実施していくため、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 ねんりんピックは、元気な60歳以上の方が参加できる、スポーツ・文化・レクリエーションの祭典であるため、60歳以上の高齢者が趣味と生きがいを持ち、いつまでも元気で過ごしていただくことも目的としているため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 高齢者の社会参加の促進は、豊かな長寿社会の実現には欠かせないものであり、ねんりんピックの開催による参加は多くの高齢者の幸福につながる。今年度はねんりんピックの大会本番であり、多くの選手・役員及び関係者の参加により成果の向上が図られる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は、必要最小限の額を計上しているところであり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 全国大会開催事業であり、受益者負担の考えはなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
今年度、ねんりんピック栃木2014が終了し、本市で開催したゲートボール交流大会の大会報告書を作成し、平成27年3月31日をもって佐野市実行委員会を解散することが実行委員会第3回総会において決定したことにより、本事業は終了する。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					